

◆ふるさと魅力再発見! 町民向け町内探訪ツアーが好評のうちに終了しました

11月15日と22日に安芸太田町合併10周年記念町民向け企画として「安芸太田町の歴史と未来探訪ツアー」を開催し、20代から80代までの30名の町民に参加いただき、「町の宝物」を再発見していただきました。

●15日のコース見学地

筒賀の大銀杏・筒賀竪穴式住居・温井ダム・杉の泊ホビーフィールド・寺領柿団地・与一野しだれ桜
松原雪かき体験講話・オートガーデン大野 (農家民宿見学/祇園坊柿染め体験)・三段峡

●22日のコース見学地

津浪和の里・ぷらっとホーム津浪・月ヶ瀬公園・木炭車の館・吉水園・長尾神社・殿賀堀八幡神社
井仁棚田とホンモロコ養殖・龍頭峡木工陶芸館 (陶芸絵付け体験)

各地のガイド役は各地域在住の町民の方をお願いし、貴重な説明をいただきました。

今回のツアーは参加者に、「アンケート調査」への協力をお願いしましたが、大変すばらしい「感想」を多く頂戴しましたので、一部を抜粋して次の通り紹介します。

◇大人の社会見学的内容で良かった。

◇町内で生まれ、町内で長い間生活して来ましたが知らないことがたくさんありました。もっと知りたいと思いました。

◇町内でこんなに知らないところがあったのかと反省。

◇普段見慣れた場所でも、きちんと町の取組みについて説明を受けると良く理解できた。

◇もっとこのような機会を増やして欲しい。



●成功している「観光地」。そして移住者が増加している「過疎地」の共通項とは？

全国の有名観光地・移住先には「共通」していることが間違いなくあります。

一つ目は…自町を愛していること。自信を持って町民自らが町外の方に積極的にPRしていること。

二つ目は…自町に関心を持っていること。自町のことをよく理解していること。

「安芸太田町」と言う同じ「船」に乗り合わせた者どうし、「町の宝物」を旧町村単位を越えて理解し合い、折に触れて自信を持って紹介いただきたいとの「願い」を本ツアー実施に際して込めました。

地域の宝を理解し、広く紹介していただくことこそが、町や観光協会が積極的に実施しているPR活動と相まって来町者を増やして経済効果を出すことや若い移住者を増やすこと、町外支援者を獲得することに直結するのです。

以上のことから、今後とも当会の「重要事業」として「町内魅力再発見ツアー」を続けていきたいと考えていますので、今回以上に多くの町民の皆様のご協力とご参加を心からお待ちしています。

◆第4回「世界イグルー選手権」町内参加者大募集!!

日本最南端の「豪雪地帯」のブランドは広島以南・以西の国内外の方々にとってはとても「魅力的」ですが、残念ながら認知度が非常に低い状況でした。

更に、スキーやスノーボード人口が年々減少していく (いわゆる市場規模縮小) 対応するために、スキーやスノーボード愛好者以外を冬季の当町に引き込み、「スノーアクティビティ (=さまざまな年齢層や顧客層に対応した雪遊び・雪体験プログラム)」が充実した地域としてのブランドを確立する必要があります。そのためには国内外の人々の注目を集めるような「インパクト」と「面白さ」が必要でした。

そこで考案されたのが「世界イグルー選手権」で、当協会の目論見通り、国内外のメディアから注目を集め、参加者の3分の1が外国人という、町内では他に類を見ないユニークな大会に成長しました。

そんな大会を町民の皆さまにも体験していただくために、参加チームを募集しますので、昨年同様たくさんの町内チームのご参加をお待ちしております。なお、町内枠は10チーム限定募集とさせていただきます。(当協会ホームページ「あきおたナビ」にてご確認ください。)